

~~~~~  
 国際理事会報告  
 ~~~~~

2021年度ICD国際理事会報告

国際理事 宮崎 真 至

ICD2021年度国際理事会が、Zoom Meetingとして2021年9月11日に開催された。ここでは、国際理事会の概要とともに、その後にICD本部を含めて国際理事間でのZoomによる会合などについて記載する。

1. 国際理事会における審議および決議事項

- 1) Section XX (国際部会：Fellow数が不足し部会を形成できないRegion (地域) の集合体) の規程作成 (部会の規程がなかった) (原案原文添付・原案を承認) および事務局就業規則修正案 (ハラスメント対応などを追加)
- 2) ICD規程の一部修正 (事務局提案による語句の一部修正、追加) (原案原文添付・原案を承認)
- 3) Fellowの所属先部会の変更を行う場合の手続きについての修正 (Section VIII提案) (原案原文添付・原案通り承認)
- 4) Distinguished Service Award (DSA) 規程の修正 (Award Committeeからの提案) DSA授与者についてAward Committeeが行い、手続き授与基準を明確にした (原案原文添付・原案通り承認)
- 5) Master Fellow 称号授与 (DSAの場合も) をされるものは、資格と業績をICDの情報誌 (Globe) やWebsiteに永久保存される (Award Committeeからの提案) (原案原文添付・原案通り承認)
- 6) EC (Executive Committee) は Awardについての見識を持つ「前」国際理事を、委員会委員として委嘱する (原案承認)
- 7) 各部会のInactive状態にある (会費未納者) Fellow取扱に関する規程の語句の修正 (Membership Committee提案) (原案を承認)
- 8) Fellowデータベース規程の語句修正 (Membership Committee提案) (原案原文添付・原案を承認)
- 9) Dr. John Yu Kong Ling (section XV, 香港) にMaster Fellowを授与する (承認)
- 10) Section XIV (ミャンマー部会) のCapitation

Fee (2022年度分) を2023年度まで延期する (延納を認める) (ミャンマーの政治・経済情勢が不安定であり、Fellowからの会費徴収や外国送金の混乱のため) (承認)

- 11) 表彰：以下の表彰について (事務局長提案・承認)

Retiring Councilor Akira Senda (Section VII Japan)

Posthumous Master Fellow Awardee Bettie McKaig (Section I USA)

Master Fellow Awardee Takashi Miyazaki (Section VII Japan)

Master Fellow Awardee Charles Smith (Section I USA)

Master Fellow Awardee Richard Smith (Section I USA)

Distinguished Service Awardee Peter Lazar AM (Section VIII Australasia)

Presidential Citation Awardee Elena Kavaliauskis (Section IV South America)

- 12) 新役員 (2021~2022)

Richard Smith, International President

Ho Youl Chang, International President Elect

Argirios Pissiotis, International Vice President

Keith Suchy, International Treasurer

Dov Sydney, International Editor

- 13) 2022年度予算概要 (承認)

2. Executive Committee (執行部委員会) 報告など

- 1) Sections VII, XI, XIIとICD本部との打ち合わせ会合が2021年12月13日 (21:00~22:00) に、Zoomを用いて行われた。
- 2) ICD Awards and how to nominateの開示
各種アワードについて、その基準の詳細についてまとめられ、公開された。
- 3) ICD本部から、オリエンテーションに用いる資料 2022 Orientation and Leadership Manual が送付された。